

合格経験共有

唐新雨

皆さんこんにちは、唐新雨と申します。ここで、私の進学の経験と心得を皆さんと共有したいと思います。少しでもお役に立てればと思います。

まず、私個人の状況を紹介致します。大学での専門は日本語でした。大学の3+1プロジェクトを通じて日本に来ましたが、マーケティング戦略（経営学分野）に専攻を変更しました。冬の試験で国立広島大学人間社会科学研究科に合格しました。

これから、言語学習、専門知識、面接、この三つの項目から私の心得を述べたいと思います。

1.言語学習

中国の大学専攻は日本語でしたが、普段日本語を話す機会は少なく、意識的に日本語を練習する場合も少なかったです。ここで、自分なりの日本語の会話の練習方法を皆さんと共有したいと思います。

まず、日本語を話す時に、簡単な文法や読み方を間違えたら、それを恥ずかしいと思わないことです。特に大学で日本語を専攻した学生には、先生から大きな期待を寄せられていますので、学生はプレッシャーを感じるでしょう。しかし、日本語学校は日本語を学ぶところです、その為、日本語を間違えたら直してもらえばよいのです。それを一步一步と積み重ねれば、きっと上達するでしょう。

それから、語彙量を増やすことです。日本語学校の先生は以前から中国人留学生を教えておられるので、中国人留学生のことをよく知っています。中国人留学生のよく間違えやすいことも良くご存じですし、中国人留学生が何を言いたいのかもわかっています。従って、先生の前で勇気を出して大胆に話してください。

2.専門知識

経営学は文系科学であり、覚えることが大事ですが、理解の上で覚えることがもっと大事です。

毎回、新しい知識を学んだ後、自分の友たちに、または縫いぐるみでもいいので、日本語で説明してみて下さい。しかも成るべく素人でもわかるように例を挙げたりわかりやすい日本語で説明したりするようにします。この過程で、授業中で学んだことをもう一回消化できるだけでなく、自分が持っている知識に変えることができますし、日本語の練習になります。

3.面接

新型コロナの影響で、私の第一、第二希望校は皆オンライン面接となった為、面接をクリアする為、面接練習に多くの時間費やしました。

面接はなんといっても準備が必要です。亞細亞友之会外語学院の先生が面接の練習を一緒にやって下さったので、とても助かりました。私は大学院入試の為、面接の練習相手は岩崎先生と宮原先生でした。岩崎先生の面接はとても細かい、小さいところもよく質問してくれますので、答えられなかった場合も慌てず、冷静に自分の考えを先生に伝えればいいです。答えが足りない部分があった場合は、岩崎先生が優しく指摘してくれたり、補足してくれたりしますので、とても親切です。宮原先生の思考回路は独特ですので、宮原先生と面接する時にとても気楽で楽しかったです。自分は答えに自信を持っていない時に、宮原先生が意外なところで自分を啓発することもよくありました。

毎回、面接した後、私は必ず自分が正確に答えられなかったところをもう一度整理し、自分の面接の下書きを完璧に近いものにしました。私にとって、緻密な準備は自信に繋がりました。「備えがあれば憂いなし」です。

いずれにしても、皆さんが楽な気持ちで十分準備して受験に臨んで下さい。個人にとっても成長が一番重要です。努力したら悔いはありません。皆さんのが自分の入りたい学校に合格するように祈ります。

以上。